

# つなぐ

第11号

2018年11月1日発行  
鳥取県 境港市議会



平成30年9月定例会 補正予算 ————— P 2  
市民と議会の懇談会(境・誠道地区)開催 ——— P 3  
平成30年9月定例会 議決結果 ————— P 3  
一般質問 ————— P 4

中野漁港の漁師と園児の交流会



# 平成30年 9月定例会 補正予算

9月定例議会は、9月5日から25日までの21日間の会期で開かれ、平成30年度一般会計補正予算など予算関連4議案、市税条例等の一部を改正する条例1議案、人事4議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決、同意されました。追加提出された平成29年度歳入歳出決算の認定議案は、決算審査特別委員会を設置し閉会中の継続審査とすることに決まりました。その他、請願1件、陳情1件が提出され、審議の結果、請願は不採択、陳情は採択となりました。陳情にもとづく委員会提出議案1件は原案通り可決されました。（議決結果はP3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。）



## 危険ブロック塀 撤去費等補助金

危険性が認められたブロック塀の  
撤去などに対して補助をする

**600万円**



## 囲碁棋聖戦開催 事業補助金

来年1月に市内で開催予定の  
第43期棋聖戦などの運営補助金

**120万円**



## 第2市民体育館 改修事業

体育館の耐震改修、  
照明のLED化などの工事をする

**6,093万円**



## 水木しげるロード 冬季イルミネーション整備事業

冬季のクリスマス  
イルミネーションなどを整備する

**305万円**

©水木プロ



## 『市民と議会の懇談会』

### 境・誠道地区 開催のご案内

台風の影響のため、境・誠道地区の開催が中止となりましたが、下記の通り開催することになりましたので、ご案内いたします。

記

#### ◎とき・ところ【地区別】

と き	と ころ	時 間
11月29日（木）	境 公 民 館 誠 道 公 民 館	開会 19：30 閉会 21：00（予定）

多くの皆さんのお越しをお待ちしております。

## 平成30年9月定例会 議決結果

#### ◆人 事

案 件	議決結果
公平委員会委員の選任について	同 意（全会一致）
職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意（全会一致）
職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意（全会一致）
教育委員会委員の任命について	同 意（全会一致）

#### ◆議 案

案 件	議決結果
平成30年度境港市一般会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）

#### ◆請 願

案 件	議決結果
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての請願	不採択（賛成多数）

#### ◆陳 情

案 件	議決結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請についての陳情	採択 意見書提出（全会一致）

#### ◆委員会提出議案

案 件	議決結果
教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	原案可決（全会一致）

このほか、一般会計等の決算認定に関する議案（閉会中の継続審査）が9件、報告案件が4件ありました。また、平成29年度決算審査特別委員会が設置されました。

# 市政を問う

13人が一般質問（各個質問）を行いました。

## 【一口メモ】

議会だよりの質問ページは、各個質問を行った1議員については最大1ページとしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりでは、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。9月議会は、すべて各個質問です。

ページ	質問事項	質問議員
5	①防災行政無線システムの更新について ②学校教育について	景山 憲
6	①災害対応と避難計画について ②生活困窮者自立支援制度について	足田 法行
7	①リニューアル後の水木しげるロードについて ②子どもたちの安心・安全に関わる課題について	浜田 佳尚
8	①荒廃農地対策について ②水木しげるロードのこれからの展開について ③境港市のまちづくり計画・立地適正化計画による見直しについて	荒井 秀行
9	①マイナンバーカード普及促進と活用について ②リニューアルした水木ロードの今後と本市の観光施策の展望について	田口 俊介
10	①猛暑・熱中症対策について ②義務教育無償の実現について	安田 共子
11	①自治会・地域での活動への助成や支援の強化について ②通行の利便性向上について	米村 一三
12	①原子力災害から市民の命と暮らしを守る問題について ②災害の危険から市民の安心安全を守る問題について ③総合高校北側道路の拡幅と才仏川の暗渠化・川の管理について	長尾 達也
13	①丸合パティオ店の閉店について ②防災対策について ③公共施設の利用について	森岡 俊夫
14	①公共交通のあり方について ②農業用水路について	築谷 敏雄
15	①原発関連について ②ICT環境整備事業について	松本 熙
16	①国の機関や職員の虚偽について ②島根原子力発電所3号機の新規制基準に係る適合性申請について	平松 謙治
17	①公共施設の管理運営と展望について ②地方創生を担う人財育成と展望について	佐名木知信

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。  
※浜田佳尚議員は10月15日付で辞職されました。

# 防災行政無線事業の前倒しを

**市長** 平成32年度に事業を完了したい



無所属 景山 憲 議員

【景山】本市の防災行政無線システム更新計画が進行中である。この事業は平成31年度から33年度にかけて設計・施工の計画である。これまでも、防災無線放送



現在の防災行政無線システム

は「聞こえない」を始めとする市民からの指摘を受け、その都度改善がはかられてきた。昨今の地震、豪雨などによる災害多発の現況を考えると、市民に一番身近な情報伝達手段として、いち早い放送が的確にできるような1年でも前倒して事業を進めるべきである。また、戸別受信機の導入について市長の見解は。

【市長】デジタル防災行政無線システムの整備に向けて準備を進めている。プロポーザル方式を導入し、設計・工事を一括して業者選定することにより効率化をはかり、平成32年度に事業を完了したい。戸別受信機は、希望される世帯への配布を検討しているが、経費の一部負担についても検討している。

【景山】学校現場での教員の負担軽減をめぐす対策の一つとして、教員に代わって中学校の部活動を指導する「部活動指導員」が来年度以降、中学校に配置されることになっている。本市ではどのような方針が検討されているのか。また、部活動指導員の導入に当たっては、生徒と指導員との間で良好な

# 適材適所の部活動指導員確保を

**教育長**

部活動指導員の  
人材確保に努める



部活動の様子

関係のうえで活発な部活動がなされることを期待しているが、適材適所の人材確保が求められる。今後の見通しは。

【教育長】部活動指導員については、教員の多忙化解消と部活動の質的向上を目的に来年度市内中学校に1名配置の予定。年次的に増やしたい。

平成33年度には各中学校に3名ずつ配置したい。部活動指導員の配置では人材の確保が一番の課題である。今後、地域の競技団体、協会へも問い合わせるなど部活動指導員の人材の確保に努力していきたい。

# 本市の避難情報の周知と理解は

市長

わかりやすい情報の周知と理解促進に取り組む



【定田】近年の想定外の災害の頻発を考えると、すべての避難計画にある避難情報の周知と理解が進むよう検討すべきと思うが、どうか。

【市長】有識者や住民代表などの意見をふまえ、よりわかりやすい避難情報の周知方法と理解促進に取り組みたい。

【定田】地区防災計画が各地域でできれば、地域住民の安心だけでなく、防災・減災と、復旧・復興を早めることになるが、所見は。

【市長】市として、よりいっそうの地域防災力の向上と地域の活性化につながる



倉敷市真備町にて

取り組みなので、先進地の事例など研究していきたい。

【定田】西日本豪雨ではタイムラインがうまく機能していなかった例も見られた。本市の雪害対策などでは運用の改善をどのようにされているか。

【市長】災害対応の検証を行うなど、見直しを加えながらより実効性を高めていきたい。

# 高齢者の就労準備支援事業の推進は

市長

ハローワークなどの関係機関と連携して対応



就労支援の充実

【定田】本市の生活保護費に占める高齢者の割合は増加している。高齢者の方に対しても就労準備支援事業ができれば、生きがいを持って元気に働いてもらうとともに、労働力の確保も期待できると思う。所見をうかがう。

【市長】生活困窮者自立支援法改正で、10月から就労準備支援事業の対象年齢が撤廃され、65歳以上の人も拡大される。国は少子高齢化による公的年金給付

水準の低下や深刻な労働力不足への懸念をふまえ、高齢者が働き続けられる環境を整える方針を生活困窮者にも打ち出した。本市の生活困窮者自立支援事業では支援対象者は少数と考える。高齢者の雇用については、県立ハローワークの生涯現役お仕事相談室の活用や、シルバー人材センターとの連携強化などにより高齢者が働きやすい機会の提供に努めていきたい。



# 水木ロード 新たなルールが必要

産業  
部長

統計データをもとに  
必要性を議論したい



会派・新風  
浜田 佳尚 議員

【浜田】水木しげる  
ロードがリニューアル  
オープンした。ラ  
ンニングや犬の散歩  
を楽しめる地域の  
方や、夜間にロード  
を訪れる観光客な

ど、新たな層の利用  
者が増えたことで新  
たなルールを考えて  
いく必要があるの  
ではないか。  
【産業部長】現在、水  
木しげる記念館で、  
アンケートを取っ  
ている。こういった統  
計データをもとに  
関係団体とともにル  
ールの必要性を議論  
していきたい。

【建設部長】逆走す  
る方がいる。標識や  
分かりやすい表示を  
していくこうと考  
えている。  
【浜田】危険な逆走  
対策の徹底を望む。  
冬季のイルミネー  
ション事業に關して  
は、イルミネーショ  
ンを利用したキャ  
クターの作成など、  
その年ごとに変化を  
持たせて毎年訪れた  
くなる仕掛けを要  
望する。



夜間も賑わう水木しげるロード ©水木プロ

# 通学時の持ち物負担の軽減対応は？

教育長

学校・PTAと協議を行っていきたい



全国的に問題になっている  
通学時の持ち物負担

【浜田】文部科学省  
は通学時の持ち物負  
担の軽減に向け、適  
切に工夫するよう全  
国の教育委員会に求  
める方針を決め、近  
く通知を出す動きが  
ある。市は、今後ど  
のように対応してい  
くのか。  
【教育長】通知の内  
容を確認し、必要な  
負担軽減について学  
校・PTAと協議を  
行っていきたい。

しているのか。  
【教育長】水筒を持  
参し適切に補給する  
よう指導している。  
激しい運動をする中  
学校ではスポーツド  
リンクの持参も許可  
している。  
【浜田】全国の小学  
校では、スポーツド  
リンクの持参を禁止  
しているところもあ  
るが、熱中症対策に  
は水分だけではなく  
塩分の摂取が重要。  
境港市では、教育委  
員会の指導のもと熱  
中症対策の徹底を望  
む。

# 30年度以降の農地の再生計画は？

**市長** 荒廃農地の再生事業計画を進める



自民クラブ 荒井 秀行 議員

【荒井】平成30年度以降の農地の再生計画についての考えは。

【市長】第二中学校周辺で、今後3力年



市街化調整区域内の荒廃農地

で国の補助事業「農地耕作条件改善事業」を活用し、約6ヘクタールの荒廃農地の再生事業計画を策定し推進する。

【荒井】改善事業の対象外の農地の対策についてうかがう。

【市長】再生事業の実施は難しい。

【荒井】境港市全体の土地利用計画の見直しを検討してはどうか。

【市長】見直しが必要と考える。今後の改定の中で検討する。

# 水木ロードのにぎわい創出策は

**市長** 海岸通りの風情は好評 観光案内図などで周知

【荒井】観光バスの乗務員・運転手の休憩室を設置してみてもどうか。

【市長】今後の観光客の動向を見極めながら研究する。

【荒井】水木しげるロードを境水道沿いの海岸通りへつなげる導線が重要と考える。さらなるにぎわい創出についての考えをうかがう。

【市長】漁船が並ぶ境水道沿いの通りは、風情があると観光客に好評。飲食店もでき、観光案内図などで周知をはかる。

【荒井】もう一つ核となる施設が必要である。

# 立地適正化計画の導入は？

**市長** 計画の必要性はマスタープラン見直し時に検討

【荒井】将来への計画を検討するため、立地適正化計画を導入することについて市長の考えは。

【市長】本市は、もともとコンパクトにまとまったまちになっていくので、さらに特定の区域に住機能や都市機能を集約することが適切であるのか、計画の意義や必要性について、「境港市都市計画マスタープラン」の見直しに合わせて検討をしたい。

【荒井】この計画を進め、中学校の数や市庁舎をどの位置に建て替えるかなども検討ができる。マスタープランの見直しを要望する。



他市の立地適正化計画



## 取得促進へ さまざまな取り組みを！

市長

いっそうの知恵を絞り  
普及率を高めたい



公明党 田口 俊介 議員

【田口】本市の現在のマイナンバーカードの交付数と普及率は。

【市長】交付数は3023枚。普及率は

8.7%である。

【田口】市職員のカードの取得状況は。

【市民生活部長】約20名である。

【田口】推進する側として「随<sup>い</sup>より始めよう」で、庁内から取得推進すべきでは。

【市長】職員の取得について、私も含め検討したい。

【田口】各種証明書のコンビニ交付サービスのビスなど多目的利用の実施を提案する。

【市長】カードの多目的利用の実施につ



さまざまな利活用が広がる  
マイナンバーカード

【市長】いっそうの知恵を絞って、普及率を上げていきたい。

【田口】普及率の高い自治体を参考にさまざまな取り組みを。

【市長】導入および運用にかかる費用負担が大きく、費用対効果の面から導入に至っていない。今後、平成33年度秋頃に予定している自治体クラウド導入にあわせて検討していきたい。

【田口】今後は、水木ロードの未来を見ずえ、自立した運営体の構築と、その際、行政の担う役割を明確にする必要があると考えるが。

【市長】ロードについては水木ロード振興会があり、リニューアル後には土曜夜市実行委員会な

【田口】ロードについては水木ロードに際し設立した水木ロードリニューアル大作戦本部の委員は、継続した観光振興がはかられるよう、観光振興プラン推進委員会の委員とほぼ同じ構成として

ども立ち上がった。この度のリニューアルに際し設立した水木ロードリニューアル大作戦本部の委員は、継続した観光振興がはかられるよう、観光振興プラン推進委員会の委員とほぼ同じ構成としている。それぞれが施策を実施する組織として機能するよう、行政としてしっかりとした事務局運営の

役割を果たしていきたい。【田口】本市の観光産業を新たな基幹産業へと発展させるために、思い切った組織改編を時限措置として行つては。

【市長】観光振興を担うセクションの体制強化をはかり、2つ目の基幹産業といわれるように積極的に振興をはかりたい。

## 組織改編で 観光を第2の基幹産業へ

市長

体制を強化し、積極的に  
観光振興をはかりたい



7月14日、待望の水木ロード  
リニューアルオープン！ ©水木プロ

# 猛暑対策に冷房器具の設置補助を！



日本共産党境港市議員  
安田 共子 議員

市長

## 調査研究し 熱中症予防の啓発にも努める

【安田】災害級の猛暑対策として、家庭への冷房器具の設置補助などの検討を。

【市長】今後、調査研究をしたいと考えているが、熱中症予防法の啓発にも引き続き努めていく。

【安田】新規の生活保護世帯には冷房器具を保護費で支給することになった。従来からの生活保護世帯にも適用するべきではないか。

【市長】従来からの生活保護世帯には、従来どおり社会福祉協議会が相談窓口と



熱中症対策には冷房器具も有効に活用を

なる生活福祉資金を案内する。

【安田】生活福祉資金を利用した場合、返済方法は、

【福祉保健部長】福祉費は6カ月据え置き、20年返済。緊急小口資金は10年返済で無利子。

【安田】返済について丁寧に説明や助言をして冷房器具が設置できるように促してもらいたい。市独自の助成制度や国に対する要望も検討を。

【福祉保健部長】実態をつかむところから始めたい。

# 義務教育無償実現へ 給食無償化を

教育長

## 無償化の考えはない 支援方法は研究したい

【安田】義務教育無償の理念から、学校給食の完全無償化を実施する考えは。

【教育長】財源負担増、受益者負担の原則、他市との比較などから完全無償化は考えていない。

【安田】完全無償化実施の自治体がない鳥取県で、一番に手をあげたらよい。一部無償化の充実も求

める。

【教育長】子育て支援の方法は研究していきたい。

【安田】授業で使う教材は無料としては。

【教育長】一律に補助の対象にとは考えていない。保護者からの要望も無く、議論の高まりの中で考えていきたい。

【安田】クラブ活動

費、生徒会費、PTA会費を就学援助の対象にすべきでは。

【教育長】県内他市でも就学援助の支給対象としていない。

【安田】他市とも協議してもらいたい。

【教育長】一律に補助の対象にとは考えていない。保護者からの要望も無く、議論の高まりの中で考えていきたい。

【安田】クラブ活動

○ 就学援助の内容

1. 新入学用品費（前年度3月1日付認定もしくは4月1日付認定の新一年生のみ）
2. 学用品費・通学用品費
3. 校外活動費
4. 学校給食費
5. 修学旅行費
6. 医療費
7. ヘルメット購入費（中学新1年生のみ）

※上記は一例です。認定時期、対象者（要保護・要支援）、就学校（市内の学校・市外の学校）、居住地（市内・市外）によって支給費目や額に制限があります。

■詳しくはこちら(pdf:114KB)

就学援助の制度が市のホームページでわかりやすく改善

# 道路上のゴミ集積場の移設促進を！

市長

## 補助金活用で自治会の取り組み実績が拡大



会派 きょうどう 米村 一三 議員

【米村】「市民と議会の懇談会」で「ゴミ集積場の悩みを聞いた。竹内町自治会で

はこの課題に積極的に取り組まれ、数カ所の集積場を整備された。整備された後は、道路がすっきりとして、通行の利便性が向上した。「ゴミ集積施設環境整備補助金」を活用した活動である。この補助金の活用実績の現状をうかがう。

【市長】自治会を対象に、ゴミ集積場の施設整備に対して、総費用の3分の2、1カ所につき20万円を限度として補助す



新しく整備されたゴミ集積場（竹内町）

る制度を設けている。これまでに、26自治会が109カ所の集積場の整備に利用している。

【米村】私有地提供者へのインセンティブを考慮してはどうか。

【市長】ゴミ集積場へ無償で土地の提供をしている地権者に、その土地にかかっている固定資産税の減免制度がある。

# 路上電柱の移設で通行利便性向上を

市長

## 土地提供があれば移設の可否を協議したい

【米村】竹内町会館の南側の道路上の電柱が会館敷地内に移設された。これにより、外浜道路に面した道路の幅員が広がり、余子駅方面に右左折する自動車の通行がとてスムーズになった。自治会役員が中国電力や市の管理課と協議しながら数年がかりで取り組まれたようだ。

狭あい道路の拡幅策として、自治会の協力を仰ぎながら路上から隣接する土地へ移設する計画を立てたらと考える。

【市長】市や電柱管理者が工事を実施する際には、道路以外への土地に移設できるように協力をお願いしている。所有者の意向や建物が障害となることで移設が困難である場合がある。

【市長】市や電柱管理者が工事を実施する際には、道路以外への土地に移設できるように協力をお願いしている。所有者の意向や建物が障害



自治会館敷地内に移設した電柱（コーンの所が元の位置）



# 安定ヨウ素剤、希望者全員に配布を



日本共産党境港市議団  
長尾 達也 議員

防災監

分かりやすい案内文書を検討していきたい

【長尾】安定ヨウ素剤事前配布希望者が196人（59世帯）とは、あまりにも少ない。一番の問題は事前配布の範囲をUPZ圏は例外的にできるとしている国の方針。制度の改定を国に求めるとともに、チラシの自身、配布・回収の方法など市民が申請しやすいものに改善を。

【防災監】原子力防災対策は国の指針にもとづく必要があるが、案内文書を市民に分かりやすくするなど工夫については県・米子市と相談していきたい。

# 甚大な被害予測 地震への備え早急に

市長

被害を最小限に  
食い止めるために取り組む

央道(備前)断層延伸による被害想定と比較

震度	地域	建物被害				人的被害				
		全壊	半壊	全壊	半壊	死者	負傷者			
39 ㎞	米子市	2,300	6,900	※	40	2,300	7,000	※	90	
	境港市	2,300	6,900	※	180	1,200	2,700	9,700	※	30
	その他	50	230	※	50	230	※	10	※	
22 ㎞	米子市	620	2,400	※	620	2,400	※	30	※	
	境港市	620	2,400	※	20	620	2,600	※	20	
	その他	20	70	※	20	70	※	※	※	

※建物被害の合計は全壊計と半壊計とを合わせたもの  
※※は若干の被害が想定されている ※発生想定時刻は「震の予報時間」

被害想定の記事（日本海新聞）

【長尾】央道断層の見直しにともなう地震の被害予測が発表された。死者、負傷者、家屋の全壊焼失・半壊など驚くべきものだ。どうすれば被害を最小限に食い止められるか、急いで検討し、計画的に対策をとるべき。

【市長】被害を最小限に食い止めるためには、自助の取り組みの徹底と共助の活動のいっそうの促進が必要。改めて、自主防災力の強化や建築物の耐震化を重点的に取り組む。

# 総合高校北側道路の拡幅 川の清掃を

市長

現状を把握し  
地元と協議したい

【長尾】総合高校北側道路は、生徒、児童、園児が通う道だ



才仏川と総合高校北側道路

【市長】道路幅は車のすれ違いが可能。川の暗渠化には多額の事業費が必要で、当面の間事業の実施は困難と考える。才仏川の現状をしっかり把握し、地元の皆さんと川の清掃を含め、協議したい。

が、川沿いにガードレールもなく危険で事故も起きている。状態をつかみ、危険な状況が改善されるよう検討を。また、川の清掃を地元任せではなく、市が責任をもって行うよう求める。

# 丸合パティオ店の閉店の影響



会派 きょうどう  
森岡 俊夫 議員

## 市長 近隣住民への影響を心配している

【森岡】9月末で閉店する丸合パティオ店の市民生活への影響をどのように分析されているのか。

【市長】原徳やフランスの閉店に続くパティオ店の閉店は、近隣住民への影響が非常に大きいと心配している。

【森岡】この問題は旧境地区だけの問題としてとらえるのではなく、将来の境港市の問題として人口動態などの調査を進めておくべきと思うが。

【市長】重要な問題であり、市としても総合的に調査・研究の必要があると考える。



「旅籠屋」の非常用発電機

## 避難所への非常用発電の設置を

### 市長 重要な設備と認識 今後調査研究を進める

【森岡】停電時に備えて市内に指定されている避難所に非常用発電機を設置すべきではないか。

【市長】避難所の電源設置の必要性は認識しているが、財源の課題があり、当面は、デジタル防災行政無線システムの更新事業に取り組んでいきたい。

【森岡】市内の宿泊施設「旅籠屋」では、プロパンガスを使用した非常用発電機を設置している。境港市も導入しては。

【市長】経費や発電量など設置している設備を調査研究したいと考える。

# 公共施設に命名権制度を導入しては

## 教育長 メリット、デメリットを比較して検討する



ターゲットバードゴルフ場

【森岡】収入源確保の観点から公共施設やイベントなどに対してネーミングライツ（命名権）制度を活用すべきでは。

【教育長】全国でも導入事例が多く、本市では昨年初めて市民ターゲットバードゴルフ場に導入している。

【森岡】ネーミングライツ制度活用に当たっては、導入方針やガイドラインを整備すべきでは。

【教育長】メリットやデメリットを比較しながら検討する。

# はまるーぷバス 利便性向上への見直しを

市長

見直しは地域公共交通会議に  
はか  
諮って決定している

【築谷】米子市への  
乗り継ぎの不便さ、  
飛行機などへの接続

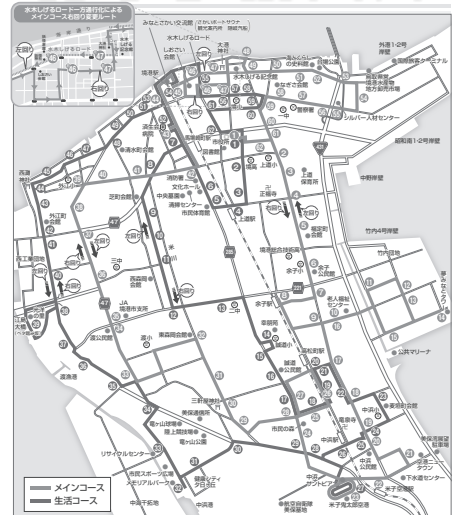
【市長】運行経路や  
停留所の新設、利便  
性向上のための見直  
しは、各地区自治連  
合会長や社会福祉団  
体、警察署、バスや  
タクシー協会の代表  
で構成される地域公  
共交通会議に諮って  
決定している。8月  
の改正では、自治会  
要望にもとづき、空  
港ニュータウンと寄  
會神社の停留所の新  
設などを行った。

【築谷】はまるーぷ  
バスのルート、時刻、  
停留所など利便性向  
上への見直しについて



自民クラブ  
築谷 敏雄 議員

うかがう。



はまるーぷバス運行経路図

【市長】市内での生  
活交通を支えるため  
に運行しており、米  
子市の医療機関など  
へは他の交通機関を  
利用し、移動するこ  
とになる。また、飛  
行機などの接続に  
ついては、市民の意  
見をふまえ、生活交  
通の維持を最優先に  
考えているため、常  
時、スムーズな接続  
をすることは困難と  
考える。

や、米子市の医療機  
関への直通便の必要  
性については。

# 水路の清掃、危険箇所への対応は

市長

水路清掃実績や農地パトロールなどで対応



市内農業用水路

【築谷】水路として  
機能していない箇所  
や清掃、危険箇所へ  
の対応についてうか  
がう。

【市長】平成25年度  
に実施した水路調査  
の結果をもとに、毎  
年水路清掃の実績や  
日常的な道路・農地  
パトロール、地域農  
業者からの要望や通  
報などの情報により  
把握し、危険箇所に  
ついては対応してい  
る。また、水路機能

の維持については、  
地域の耕作者や農事  
実行組合が実施され  
ることが基本であり  
市では清掃で生じた  
泥などの運搬支援や  
経費の助成をしてい  
る。このほか、農業  
者の減少や高齢化を  
背景とした清掃困難  
箇所については、平  
成26年度から、農地  
の再生や活用がはか  
られる箇所に限定  
し、市で水路清掃を  
実施している。



# 3号機の新規制基準への適合申請は

市長

## 原子力規制委員会が申請内容の不備を指摘

【松本】中電は原子力規制委員会に3号機の新規制基準への適合申請を提出。初の審査会合では規制委員会から内容の不備が指摘されたと聞く。今後の動きを注視する。

【松本】住民説明会

【市長】文化ホールで市民説明会を開催。時間延長して行われたと聞く。さまざまな意見がある事は私も承知している。

【市長】中電は原子力規制委員会に3号機の新規制基準への適合申請を提出。初の審査会合では規制委員会から内容の不備が指摘されたと聞く。今後の動きを注視する。

【市長】文化ホールで市民説明会を開催。時間延長して行われたと聞く。さまざまな意見がある事は私も承知している。

【松本】福島原発の事故は、安全第一の原発推進政策に潜む「犠牲」を暴露。事



無所属 松本 熙 議員



新規制基準適合性に係る審査風景 (原子力規制委員会HPより)

# からだ、眼、こころの症状に配慮を

教育長

## 文科省が示すガイドブックにもとづき配慮する

【松本】学校教育の充実として、ICT環境整備事業が始まる。今後は小中学校で積極的に活用される。タブレットだけが先行しないか不安を感じるがどうか。

【教育長】情報化社会を生きる子どもた

ちにとって、情報活用能力の育成が重要であり、ICT機器を整備する。昨年小学校5・6年生の全教室に大型ディスプレイを導入し、よりわかりやすい学習ができる」と報告を受けた。タブレットで情報を大規模に収集し、導いた考えを大型ディスプレイで表現する活動や論理的思考力を身につけさせるプログラミング教育を全教科、全教室で取り組

むことができると考える。  
【松本】からだ、眼、こころなどへのリスクが文科省でも指摘される。本格導入までに配慮が必要と考える。  
【教育長】眼の疲れや姿勢の崩れなど健康面の影響も考慮し、文科省が示したガイドブックにもとづき機器を使用し、児童生徒の健康に十分に配慮したい。



タブレットPCを利用する際のポイント (文部科学省資料より)

# 障がい者雇用 水増し報道について

市長

障がい者雇用の努力に  
水をさす行為で遺憾だ

42年間も不適切な算入を行っており、行政に対する信頼を損ね、民間や地方公共団体の障がい者雇用の努力に水をさす問題であり、誠に遺憾である。

【市長】国の政策を決めて行く際に間違ったデータが出されたとすればあってはならないこと。誠に遺憾である。

【平松】中央省庁で障がい者雇用数水増し問題が公表された。本市の現状は。その法整備でも適切に算入された雇用数で議論がなされて



会派 きょうどう  
平松 謙治 議員

いる。一連の問題に対して所感を。

【市長】本市の障がい者雇用の状況は、今年度も法定雇用率を上回り、2・74%を雇用。国への報告でも障がい者手帳の確認を行い適切に行っている。国では

【平松】障がい者雇用促進法の改正のみならず、働き方改革関連法での「長時間労働の是正と裁量労働制の拡大」議論も、法案整備に都合の良いデータで議論をされている。このような状況をどう感じるか。

【市長】国の政策を決めて行く際に間違ったデータが出されたとすればあってはならないこと。誠に遺憾である。

事業主のみなさまへ

平成30年4月1日から  
障害者の法定雇用率が引き上げになります

障害者がごく普通に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります（障害者雇用率制度）。この法定雇用率が、平成30年4月1日から以下のように変わります。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成30年4月1日以降
民間企業	2.0%	⇒ 2.2%
国、地方公共団体等	2.3%	⇒ 2.5%
都道府県等の教育委員会	2.2%	⇒ 2.4%

障害者の法定雇用率引き上げの案内  
厚生労働省のパフレットより

## 審査申請報告への 意見留保とは？

防災監

審査合格後に改めて  
最終的な意見を回答する

【平松】島根原発3号機適合性申請の中国電力からの事前報告に対する回答は。【市長】最終的な意見は留保。

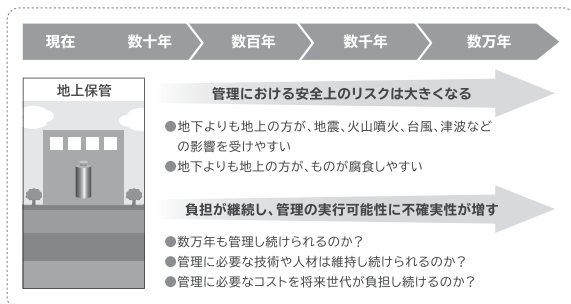
【平松】意見留保とはどういう意味か。【防災監】審査合格後に改めて、国や中国電力などから説明を受け、議会などの意見を聞いた後、最

【平松】申請自体は承認するが、稼働を了承した訳でない」と理解する。そこで核燃料再処理やNUMOの放射性廃棄物最終処分場建設が進まない中で島根原発を稼働し使用済み核燃料が出た場合、どうなるのか。

【防災監】既存の燃料プールに保管。その容量を超えるようであれば敷地内外に中間貯蔵施設を作るなど別の方法を検討することとなる。

【平松】原発稼働をすれば新たな使用済み燃料を先の見えぬ最終処分場が確立するまで島根原発で保存しなければならぬ。このような最終処分場が確立していない中で原発稼働は反対である。

■地上保管のリスク：地上保管ではリスクが次第に増大します



「知ってほしい、地層処分」より  
(制作：NUMO原子力発電環境整備機構)

# 文化ホールと新センターとのすみ分けは

教育長

## 目的・用途によって使い分けていく



自民クラブ 佐名木 知信 議員

【佐名木】誠道小学校と余子小学校との統合後の、校舎・体育館・プール・グラウンドなどの利活用や管理運営などの議論は、いつからどの

ように行うのか。

【教育長】地域住民の意見・提案・要望も聞きながら、全国の活用事例なども調査・研究し、来年1月を目途に、庁内の関係部署での協議を開始したいと考えている。市報やホームページなどで意見・提案も募集してみたい。

【佐名木】老朽化が進む文化ホールの将来展望を問う。

【教育長】各所で不具合が生じている



境港市文化ホール

他、ホール天井は、耐震強度不足から張り替えが必要である。長期間の休館は利用者への影響が大きい。ため、(仮称)境港市民交流センター開館後に改修工事を実施する。今後も文化振興財団と連携し、各種文化事業の充実をはかりたい。

【佐名木】(仮称)境港市民交流センターとのすみ分けは。

【教育長】両施設は利用の目的・用途により使い分けていく。

# 地元高校を核にした地域人財育成を

教育長

## 高校の意向などに注視し、応援していきたい

【佐名木】地元高校を核に、自治体、企業、NPO法人、大学が協力し、「観光資源の活用」「高齢化で増大する介護ニーズへの対応」など現場の課題を発見し、自ら考え行動しながら、解決していく力を身に付けさせる「地域を支えていく人材を育成するモデル事業」を他自治体に先駆け早急に検討すべき。

注視し、応援していきたい。

【佐名木】地域から出ていった若い人たちが地域に戻ってくるしくみを構築するためには、高校時代にいかに地域のことを学ぶかが大事になる。企画・構想・プレゼンテーション力に優れ、自ら課題を見つけ、それを乗り越えるための方法を考え、みんなを巻き込んで実践して課題解決につなげていくという、どこの会社も欲しがるといえるような地域人財育成を願う。



境港総合技術高校生と地元企業との共同開発事業の様子





わが街

2017年 撮影：大濱 博幸 様



漁港の向こうに

2016年 撮影：竹田 誠司 様

あとがき

季節はめっきり秋らしくなりました。今年の夏の酷暑を思えば同じ国に住んでいるのかと疑うばかりです。幸いなことに、境港市には大きな被害がなかったものの、連続しての台風の襲来は、大きく地球環境が変化しているのかと思わせます。

今任期より、広報部会の編集委員として「つなぐ」の発行に携わることになり、前任の編集委員の苦勞を実感しております。

各議員に与えられたスペースの中で本会議の自分の議論を正確に、わかりやすく表現することの難しさを肌身にかけております。市民各位におかれましては、皆さんのご要望で復刊した「つなぐ」を手に取り、ぜひ「一読くださいますようお願いいたします。」  
(米村)

【発行責任者】

議長 柊 康弘

【広報部会】

部長 安田 共子

副部長 米村 一三

足田 敏雄

法行